

◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

書譜 孫過庭



1、字句||逸少

2、形式||半紙タテ使用。中央に「逸少」と臨書し、左余白に落款「○○臨」と調和を工夫し書き入れる。

3、概観||今月は「節筆」について解説することにしていましたが、課題を「逸少」としましたので「逸少」について書きたいと思います。

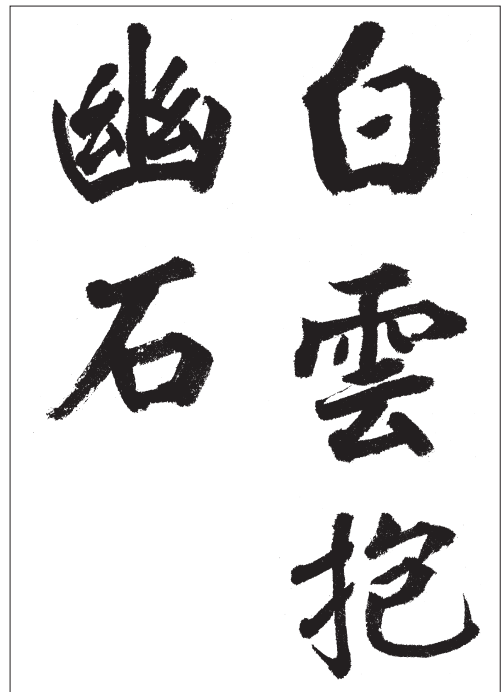
みなさんは「逸少」が誰を指すかご存知の方が多いとは思いますが、「逸少」とは王羲之の字です。王羲之は官名により「王右軍」ともよばれています。この書譜は中国歴代の草書作品としても傑作であり、後世に与えた影響も大きいのですが、書論としても高く評価されています。文中には「逸少」が五ヶ所、「右軍」が七ヶ所、「羲之（王羲之を含む）」が三ヶ所、「羲献（王羲之と息子の王献之）」が四ヶ所を数えます。孫過庭の王羲之に対する思いが偲ばれます。また、すべて形用筆を変えて書かれているのには驚かされます。

4、各字のポイント

逸 △までは表面にて連筆。△で裏面にし、○で表面に、↓は意連。次画は直線で。□で反転し↓は意連。|で押してゆき収筆は引き上げる。

少 一画目は左傾し↓は意連。二画目掬い上げる。三画目起筆で筆を突き勢いよく直線的に連筆し、収筆で引き抜く。

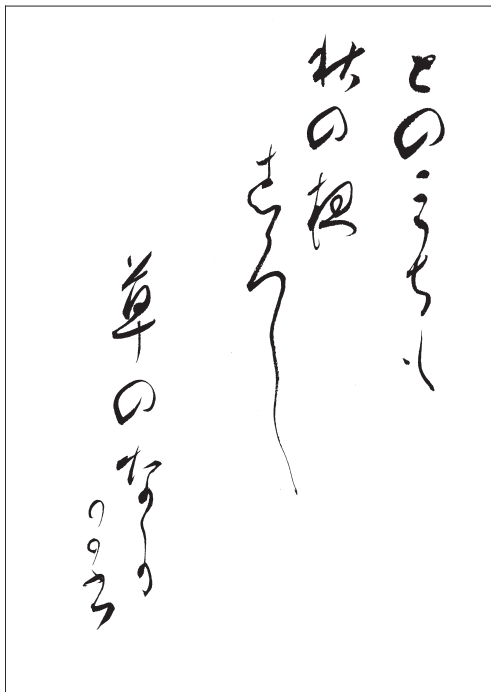
昇試第三部 (漢字・かな) (予告) (九月二十二日締切)



平岡華雪先生書 白雲幽石を抱く(謝靈運)

訳：白い雲がおくぶかい岩にかかっている。

平岡華雪先生書 どの道も秋の夜白し草のなか (水巴)





意者以為評得其綱紀。而未詳其始卒也。
意者に、以て評して其の綱紀を得たりと為すも、而も未だ其の始卒を詳らかにせざるなり。
これは大筋をつかんだ議論ではあるが、終始を明らかにした総合的な議論ではないのである。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。
随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

一字書（八月二十二日締切）

課題

縦

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

A

鈴木静村先生書

寂寞柴門空有舍 蕭條山寺靜無僧 (耶律楚材)
寂寞たる柴門空しく舍有り、蕭條たる山寺静かに僧無し。



B

高橋香樹会长書

崩し、点画の組み合わせ等で疑問があった場合、必ず字典で、これが鉄則。寂 草書体を確実に覚え込む。ウ冠に相違。柴門空 脈絡一貫させる。
有 墨継ぎ、筆順注意。舍 黄庭堅調を拝借。蕭 筆順。長タテ画に「米」を書き左右のタテ画へ。條 偏、タテ二本に表出。寺 寸、米芾調。
静 墨継ぎ。無僧 曾 右肩上がり。の形。



「寂」の楷書は数種あるが、古典ではこの形が多い。「舍」は部首は「舌」だが「舍」のように「舌」の形が圧倒的。「條」は「楹」や「條」もあるが、「條」を採用。「静」の旁も「争」や「爭」が多く「爭」と突き抜けた形は少ない。「僧」の旁は「曾」・「曾」・「曾」がある。それぞれ字書にありたい。訳：ひっそりとした柴の門の奥に静かな家がある。ものさびしい山にひっそりとした寺があって僧は誰一人としていない。

予告 昇試第一部漢字(九月二十二日締切)

西風萬里一黃鶴

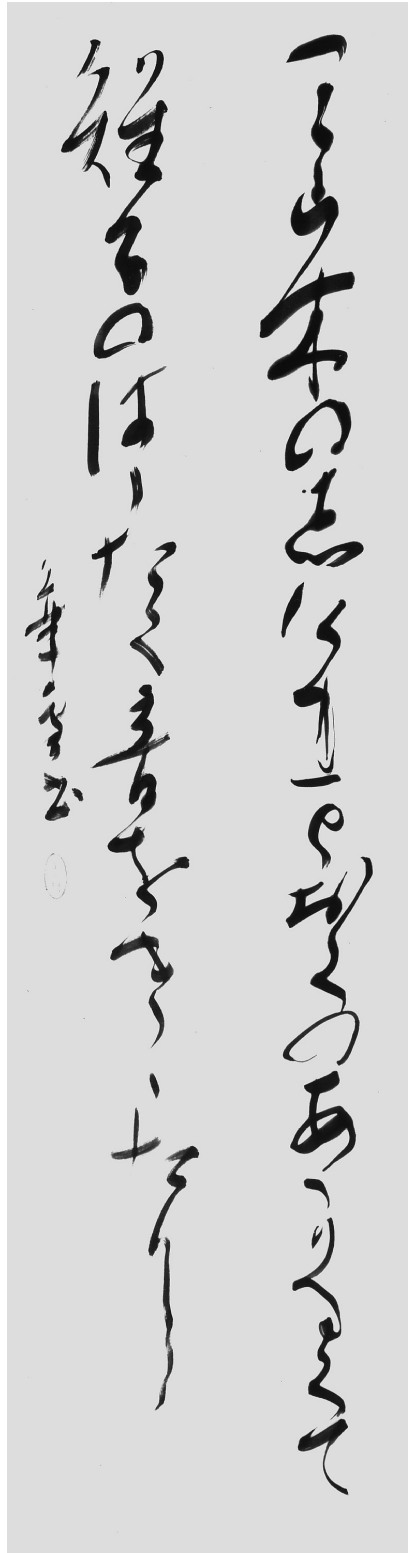
秋水半江雙白魚(張翔)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

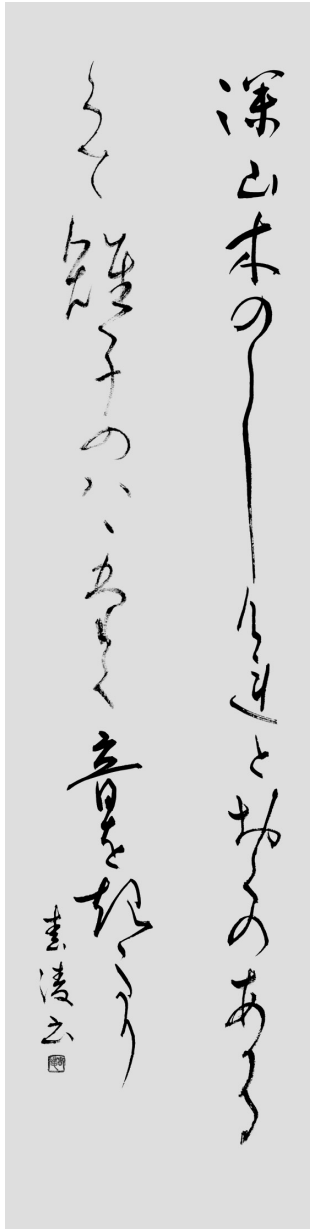
深山木の茂れど奥の明るくて雉子のははたく音を聞きたり(若山喜志子)
三山木の志介連とお久のあ可る久て雉子のは、た久音をき、たり



B

武井春凌先生書

深山木のし介連とお久のあ可る久て雉子のははたく音を起、多り



若山 喜志子
明治二十一年(一八八八)
昭和四十三年(一九六八)長野県生れ、名は喜志。牧水と結婚し、その影響で「創作」に作品を発表した。牧水没後、「創作」を主宰したがのち長谷川銀作に委任した。歌集に「無花集」「白梅集」等。

学び方

二行書にしてみました。「深山木」と「雉子」は変体仮名を使わず意味が分りやすく書いて、「し」は長めに書き変化をつけ、文字の大小の変化、となりの行との響きあい、墨の潤濁に留意して書いてみてください。

予告 昇試第一部かな(九月二十二日締切)

かの人の植ゑし庭草さびしらに花は咲きつっこほろぎの鳴く(伊藤左千夫)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

町田 煌月 先生 書

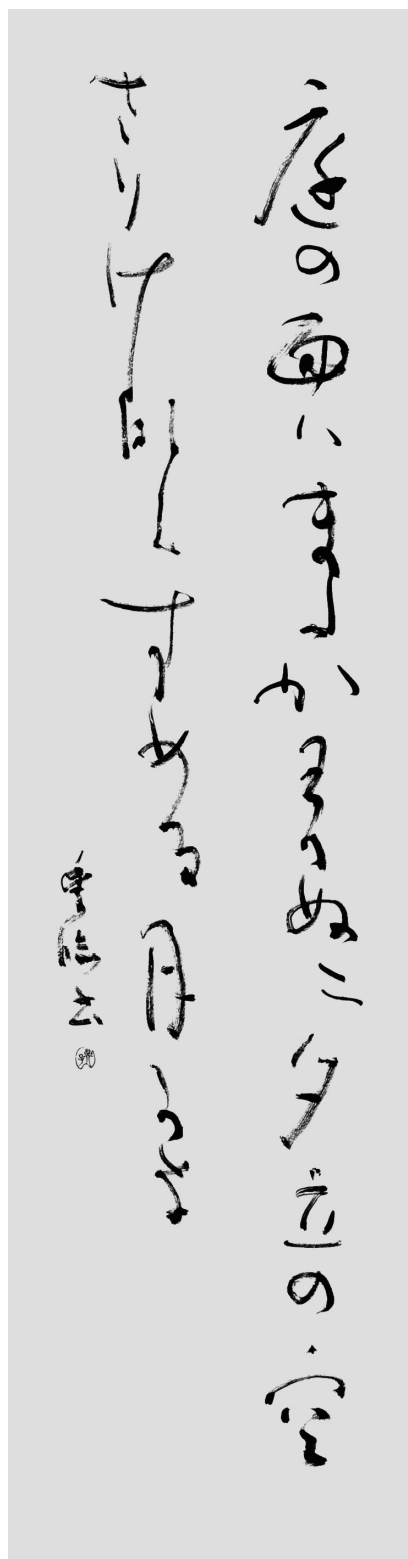
妙理静機都遠俗 诗情画趣总怡神（乾隆帝）
みょうりせいきすべ ざく とおき しじょうがしすべ しん ようこ
 妙理静機都て俗を遠け诗情画趣総て神を怡ばす。



訳：微妙な理、静寂な機はずでに俗気を離脱し、詩の情懷や画のおもしろみはみなこころをよろこばせる。

吉原 豊臨 先生 書

庭の面はまだかわかぬに夕立の空さりげなくすめる月かな（新古今和歌集 従三位頼政）
には おも 庭の面はまだかわかぬに夕立の空さりげなくすめる月かな



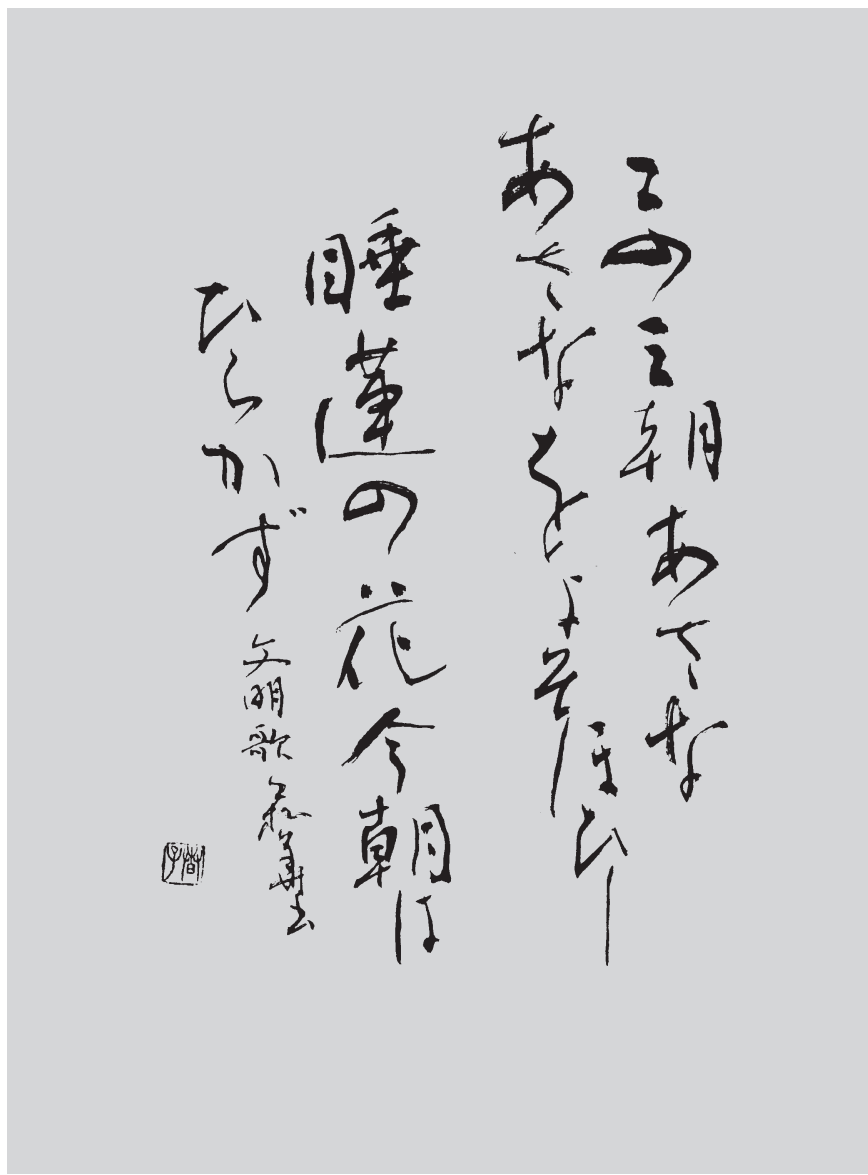
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

小暮 菘華 先生 書

この三朝あさなあさなを
よそほひし睡蓮の花今朝は
ひらかず

土屋文明

文明の第一歌集「ふゆくさ」の中の一詩です。しずやかな歌の調子をくずさず、四行に書いてみました。「あさなあさな」とつづく同じ言葉は下を改行し、文字の配置に気を付け、「よそほひし」でひらがなに「の」のゆるぎで表情を持たせ、「ほ」と「な」の縦画が同一にならないよう留意しました。「睡蓮の花」を強調し、「ひらかず」でしずかにもとめました。



また、上の句と下の句との文字群の間に余白をとって明るさを出しました。歌から受ける印象を大事にして、それぞれ工夫を試みて下さい。

土屋文明 (一九〇〇～一九九〇) 歌人、群馬県生まれ。中学卒業と同時に伊藤左千夫を頼って上京、一高東大卒。教員生活をしつつ「アララギ」編集に当たった。極めて長い歌歴と膨大な著作により不滅の足跡を残す。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

名園緑水に依り(杜甫)

訳：名だかい園は緑の川に臨んでおり

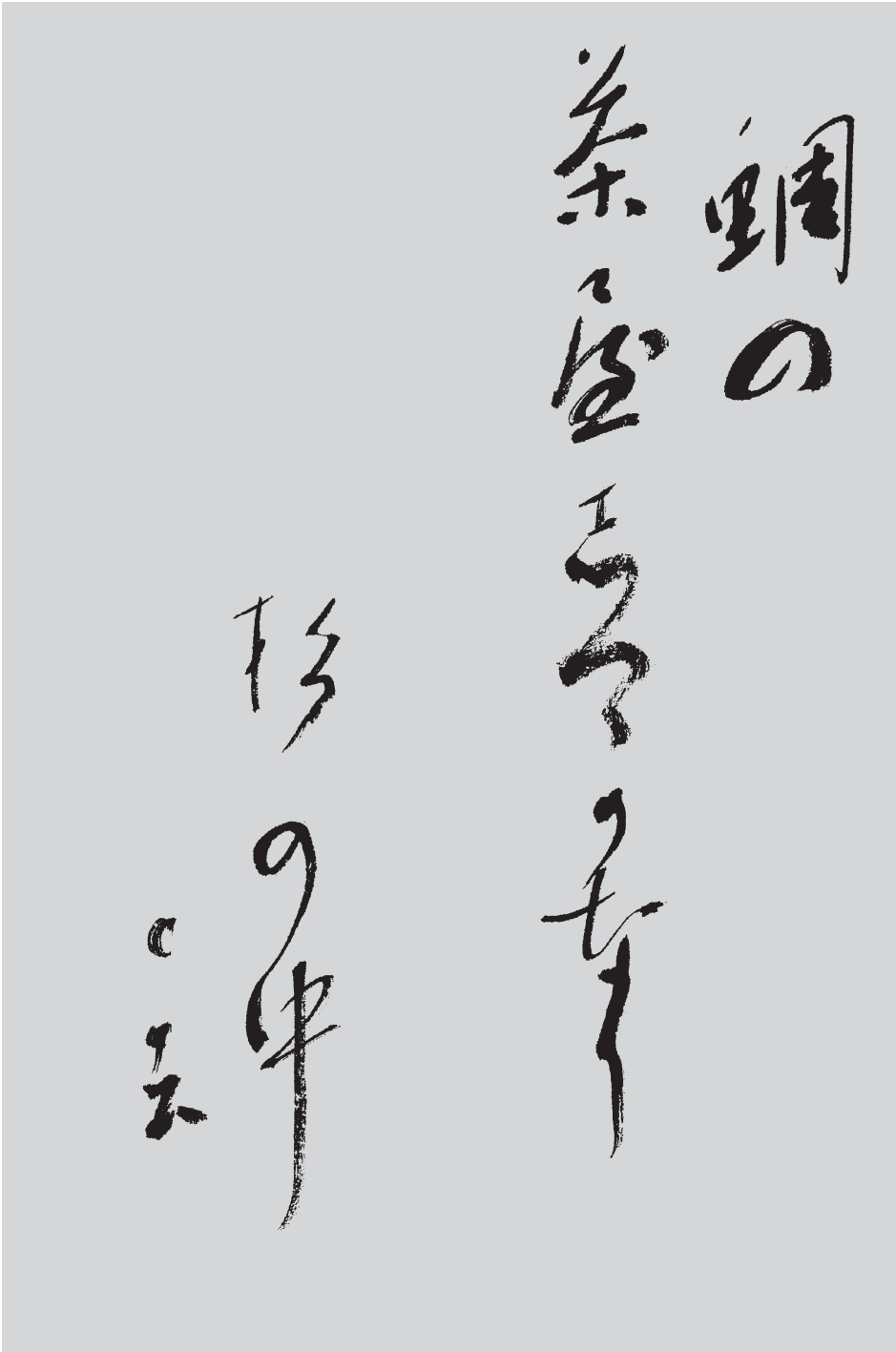
〈楷書としても古典に多い形〉
 ・園“袁”部、古典は“糸”この形、“遠”
 “係”も同じ。
 ・依“衣”二、三画続けは古典に多い。
 ・水、末画の始筆をタテ画の左に覗かせた形。初唐
 三大家の楷書に多い。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

蝸ひぐさしの茶屋静かなり杉の中(子規)
蝸の茶屋志しつ可かなり杉の中



〈行頭漢字に留意して〉
三行共、行頭に漢字、特に右群上部は放ち書きながら漢字三文字が布置されている。太細の工夫・強弱の導入等、展開へ向けて思い切った挑戦を試みてほしい。「志つ可なり」筆鋒の開閉用筆を充分見習って、自己表現へとつなげられるよう期待したい。

予告 昇試第一部かな (九月二十二日締切)

海人の子がひるねの夢を乗せながらつながぬ舟ぞなみにただよふ (八田知紀)

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

内藤香瑠先生書

別離方異域（王維）
べつりまさ
いさ
こと
別離方に域を異にす、

訳……ここで別れてしまえば、別の世界の人となり

別離方異域
別離方異域
別離方異域

香瑠書


予告 昇試第二部漢字（九月二十二日締切）

音信若爲通（王維）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

北 沢 博 舟 先 生 書

避炎（李商隐）
炎を避く。



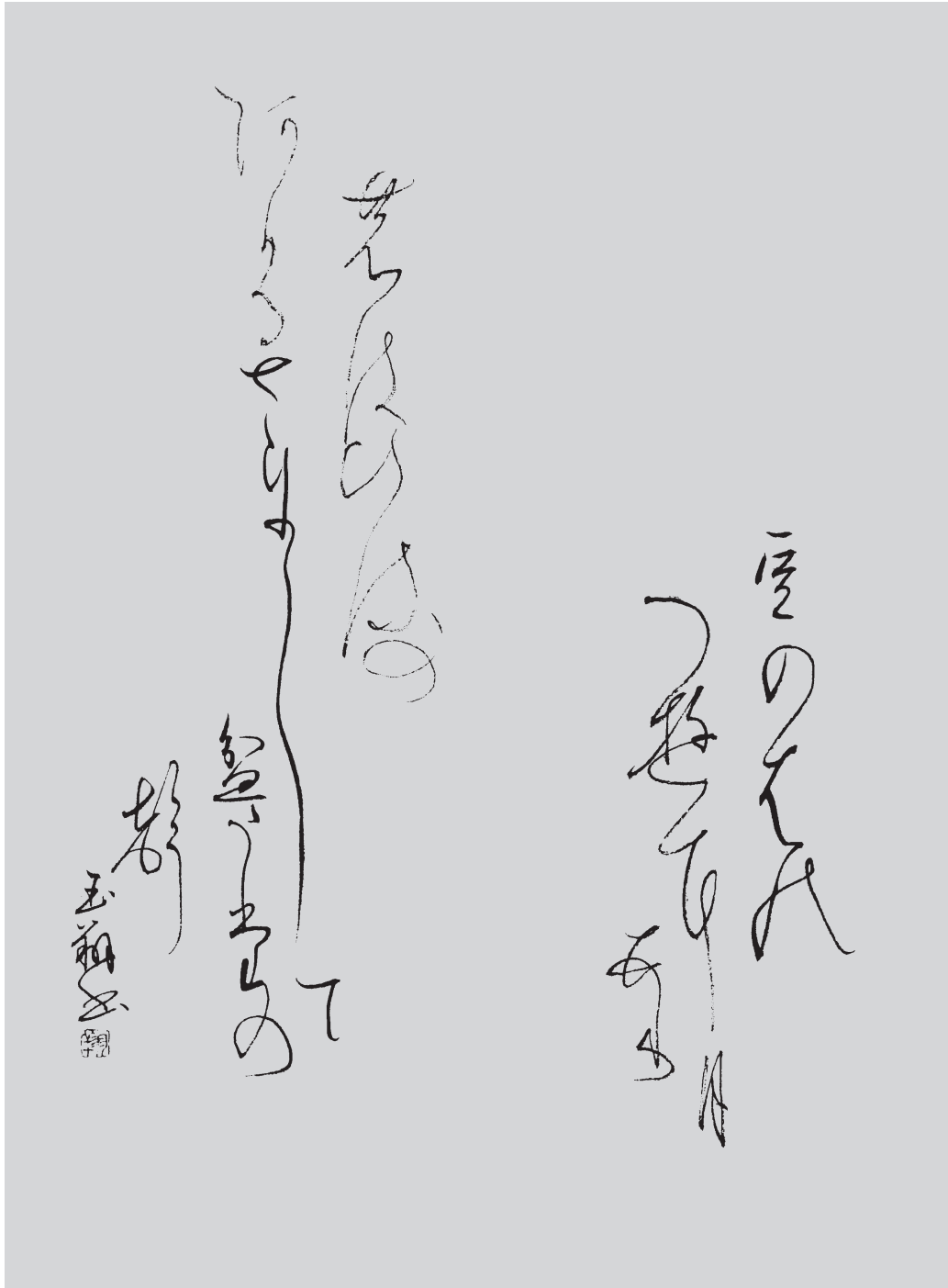
訳：あつさをよける。避暑する。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

福
田
玉
翔
先
生
書

豆^{まめ}の葉^はの露^{つゆ}に月^{つき}あり野^のは昼^{ひる}の明^{あか}るさにして盆^{ぼん}唄^{うた}のこゑ（太田水穂）
豆^{まめ}の者^{もの}能^よつ遊^{あそ}耳^{みみ}月^{つき}あり農^のはひ流^{りゅう}の阿^あ可^かるさ^るに^に盆^{ぼん}う^うた^たの聲^{こゑ}



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

湯澤春翠先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

この悠久な山間の村里は、大方母が
生れた頃も、今眼の前にあるような
平和な景色をひろげていただろう。

下田の港は、伊豆相模の温泉場なぞ
を流して歩く旅芸人が、旅の空での
故郷として懐しがらうような、
標った所なのである。

課題1 (初段階以上)

下田の港は、伊豆相模の温泉場なぞを流して歩く旅芸人が、旅の空での故郷として懐しがらうような空気の漂った町なのである。

「伊豆の踊子」川端康成

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

この悠久な山間の村里は、大方母が生れた頃も、今眼の前にあるような平和な景色をひろげていただろう。

「吉野葛」谷崎潤一郎